

インバウンド誘客には、まず、インバウンドビジネスの全貌を理解し、様々なインバウンド知識を身につけることが必須です。

第2回

インバウンド実務主任者 認定試験

試験日

平成29年10月29日(日)

申込期間

平成29年9月28日(木)まで

※会場によっては期日前に申込受付を締切ることがございます。

試験時間

10:00~12:15

受験資格

国籍・年齢等による制限はありません

検定料

10,000円(税別)

【当協会のサイトからの申込み】

当協会のサイトからの申込後、検定料をカード、コンビニ、銀行、郵便局で支払えます。

※試験を10名以上同時申込みされますと、団体割引が適用されます。

10~19名...8%割引 20~99名...10%割引 100名以上...15%割引

【郵送での受験申込み】

資料請求ページより資料請求をしていただくと、資料と共に「受験申込書」を送付します。

受験者支援キャンペーン実施中

第1回過去問題を
先着3000名様に
特別プレゼント



試験会場

◎東京会場.....東京大学(駒場Iキャンパス)
◎北海道会場.....北海道教育大学(札幌校)
◎仙台会場.....東北大学(川内南キャンパス)
◎埼玉会場.....埼玉大学
◎千葉会場.....千葉大学(西千葉キャンパス)
◎横浜会場.....八洲学園大学

◎名古屋会場.....名古屋工業大学
◎大阪会場.....近畿大学(東大阪キャンパス)
◎京都会場.....京都大学(吉田キャンパス)
◎広島会場.....広島YMCA国際文化センター
◎九州会場.....九州大学(箱崎キャンパス)
◎沖縄会場.....琉球大学

※試験会場には定員がありますので、ご了承ください。
※試験会場は変更になる場合があります。ホームページをご確認ください。



インバウンドビジネスの
人材育成には、本検定試験が
必ずお役に立ちます。



インバウンドビジネスでは
人材育成が急務です。
当協会はインバウンドディレクター
を養成します。



あらゆる事業分野に
大きなチャンスがあります。
まずは、インバウンドビジネスの
全貌を理解することから
スタートして下さい。



【試験課題】

※課題内容の詳細は裏面およびホームページをご覧ください。

第1課題 観光総論

第2課題 インバウンド総論

第3課題 インバウンドの現状と動向

第4課題 インバウンドと消費

第5課題 インバウンドとビジネス

第6課題 インバウンドとニューツーリズム

第7課題 訪日外国人の理解

第8課題 訪日外国人への対応

第9課題 インバウンドの集客

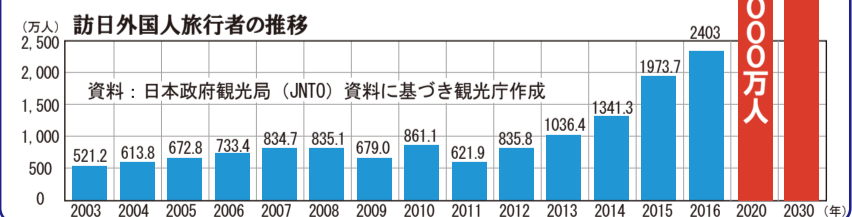
第10課題 インバウンドとテーマ別観光まちづくり

第11課題 インバウンド会話(英・中・韓から1言語選択)

※英語・中国語・韓国語などの資格取得者は
免除があります。詳細は裏面をご覧ください。

★2020年の目標 4000万人 8兆円消費
リピーター2400万人!

★2030年の目標 6000万人 15兆円消費
リピーター3600万人!



お申込みは協会HPから▶

<http://www.in-bound.or.jp/>

全情協

検索

■試験に関するお問合せ

03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会

後援: 産経新聞社 一般社団法人 ジャパンショッピングツーリズム協会
朝日新聞社 株式会社 角川アスキー総合研究所

東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル5F
TEL:03-5276-0030 FAX:03-5276-0551
E-Mail:joho@joho-gakushu.or.jp

「インバウンド実務主任者認定試験」とは

2020年目標 訪日観光客4000万人。リピーター2400万人（60%）

あなたの街にインバウンドビジネスを興し豊かな街を作ろう。

情報発信力がインバウンドビジネスの決め手です。



Inbound Business Director



【インバウンド実務主任者認定試験 課題内容】

課題	項目
第1課題 観光総論 (インバウンド、アウトバウンドなど観光全体からインバウンドを理解しよう)	1 観光マーケット 2 国内旅行 3 海外旅行 4 観光行政 5 観光に係る法律
第2課題 インバウンド総論 (法律や為替、組織、政策などインバウンドの基礎・総論を理解しよう)	1 インバウンドとは 2 国・地域別インバウンド 3 インバウンドに係る法律 4 インバウンドと為替 5 インバウンドと日本政府観光局 6 インバウンドとDMO 7 インバウンドと通訳ガイド制度
第3課題 インバウンドの現状と動向 (現状、動向から将来を考えよう)	1 インバウンドのデスティネーション 2 インバウンドの来日動機 3 インバウンドとビザ 4 インバウンドとMICE
第4課題 インバウンドと消費 (インバウンドの消費の中で、商品購入費が最大です)	1 インバウンドの消費動向 2 インバウンドと免税店 3 免税対象品目・金額と手続き 4 申請・許可、シンボルマークの利用 5 免税販売のオペレーション
第5課題 インバウンドとビジネス (インバウンドビジネスは多岐に亘りますので、自分の関係する分野を選択して10問程度を回答していただきます)	1 旅行業ビジネス 2 宿泊業ビジネス 3 鉄道交通ビジネス 4 航空交通ビジネス 5 ショッピングビジネス 6 観光土産ビジネス 7 飲食ビジネス 8 道路交通ビジネス
第6課題 インバウンドとニューツーリズム (受験生が関係するニューツーリズムを選択して5問程度を回答していただきます)	1 ニューツーリズムとは 2 エコツーリズム 3 ロングステイ 4 グリーンツーリズム 5 カルチャーツーリズム 6 メディカルツーリズム 7 フードツーリズム 8 コンテンツツーリズム 9 アニメツーリズム
第7課題 訪日外国人の理解 (宗教、習慣などは、国により様々です。インバウンドはそれぞれの国の人々を理解するところから始まります。)	1 外国人との対応姿勢 2 中国人の理解 3 韓国人の理解 4 台湾人の理解 5 香港人の理解 6 タイ人の理解 7 東南アジア人の理解 8 アメリカ人の理解 9 西欧人の理解 10 ムスリムの理解

課題	項目
第8課題 訪日外国人への対応 (様々な国の人々を理解して、適切に対応します。リピーターを呼び込める対応が必要です)	1 外国人旅行者の不满 2 多言語対応 3 通信環境対応 4 外国人旅行者の安全対策 5 インバウンド人材の育成 6 日本式ホスピタリティ 7 日本ブランド
第9課題 インバウンドの集客 (試験の最重要課題です。したがって配点も高くなっています。ウェブを理解しないでインバウンドの集客はできません。情報発信力はインバウンドの命です)	1 ネット予約サイト 2 旅行博 3 ファムトリップ 4 フリーペーパー 5 旅行ガイドブック 6 自社ウェブサイト 7 インバウンドウェブメディア 8 クチコミサイト 9 SNS 10 店頭集客 11 外国人スタッフ
第10課題 インバウンドとテーマ別観光まちづくり (様々な街の参考事例をテーマごとに学びます。あなたの街の「まちづくり」の参考にして下さい)	1 観光まちづくりとは 2 祭り 3 富士山の景観 4 スキー 5 古い街並み 6 仏教文化 7 商店街の取り組み 8 クルーズ船 9 世界遺産 10 温泉
第11課題 インバウンド会話 (やさしい接待用のインバウンド会話です)	1 英語 ※3ヶ国語より1言語を選択して答えていただきます。資格取得者には免除制度があります。 2 中国語 3 韓国語
試験時間	120分（共通）
試験方式	マークシート方式
出題問題数	計95問 課題1～10：90問 課題11：5問
合格基準	免除無は95問の80%（76問以上の正解） 免除有は外国語を除く90問の80%以上（72問以上の正解）

※試験内容は変更となる場合がありますのでご了承下さい。項目は一例です。

【課題11及び免除制度について】

第11課題「インバウンド会話」は選択課題となり、英語・中国語・韓国語から1言語を選択して回答する形式となります。また、各言語における以下の資格をお持ちの方は課題を免除することができます。

- ◆インバウンド会話 選択1 英語
TOEIC 450点以上、TOEFL(PBT)450点以上、英検準2級以上、国連英検C級以上
- ◆インバウンド会話 選択2 中国語
中国語検定3級以上、HSK3級以上
- ◆インバウンド会話 選択3 韓国語
ハンゲル能力検定試験3級以上

※英語・中国語・韓国語は、訪日外国人をご案内するインバウンド会話で、免除基準の級や得点などは、難易度の水準を示すものではありません。
※免除申請には各免除対象試験の合格や得点を証明できる書類（合格証書・認定証・合格証明書などの写し）のご提出が必要です。
提出方法等はホームページをご覧ください。

受験学習用推薦書籍

インバウンド実務主任者公式テキスト

8月発売

インバウンド実務主任者認定試験 公式テキスト

定価：2,300円(税抜)
著者：安田亘宏
発行：全日本情報学習振興協会
判型：A5判
ページ数：約400ページ



観光サービス論

定価：2,300円(税抜)
著者：安田亘宏
発行：古今書院
判型：A5判
ページ数：266ページ



【第2版】インバウンドビジネス入門講座

定価：1,680円(税抜)
著者：村山慶輔
発行：翔泳社
判型：A5判
ページ数：223ページ



観光ビジネス未来白書

定価：2,500円(税抜)
著者：加藤弘治
発行：同友館
判型：B5判
ページ数：165ページ

参考書籍はこちらで購入できます。

アットインダスショップ

<http://indus.co.jp/shop/>

※本リーフレットは、協会ホームページよりPDFにてダウンロード頂くことができます。社内回覧などにご利用下さい。

<http://www.in-bound.or.jp/>

お問合せ先
03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会
東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル5F
FAX:03-5276-0551

第2回 インバウンド実務主任者認定試験

対策講習会のお知らせ

インバウンドへの理解を深め、合格率UP!

本試験は幅広いインバウンドビジネス全体像を理解することを狙っています。したがって、本試験の内容はかなり広く、計11課題に及び、何を、あるいはどこを中心に学習するかについて悩まれる方も多いようです。講習ではインバウンド総論の解説から問題の解答解説までを行います。本講習会で理解を深め、合格に繋がります。

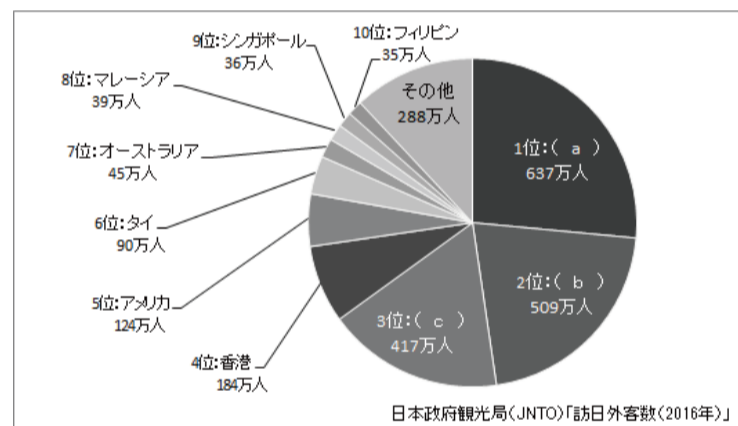
【会場】 東京・水道橋 9月～10月に開催予定

【詳細・申込】 <http://www.in-bound.or.jp/>



【サンプル問題】

【問】 次のグラフは、2016年（平成28年）における国・地域別訪日外国人旅行者数を表したものである。以下のアからエまでのうち、図中の（ ）に入る最も適切な語句の組合せを1つ選びなさい。



- ア. a. 台湾 b. 韓国 c. 中国
イ. a. インド b. 中国 c. 韓国
ウ. a. 中国 b. 韓国 c. 台湾
エ. a. 英国 b. インドネシア c. フランス

解答：ウ

【問】 次の表は、インバウンドの現状（2016年）と目標の数値を示したものである。以下のアからエまでのうち、表中の（ ）に入る最も適切な数値の組合せを1つ選びなさい。

	2016年	2020年	2030年
訪日外国人旅行者数	2,403万9,000人	(a)人	6,000万人
訪日外国人旅行消費額	(b) 7,476億円	8兆円	15兆円
外国人リピーター数	1,324万5,000人	2,400万人	(c)人

- ア. a. 3,000万 b. 2兆 c. 5,600万
イ. a. 4,000万 b. 2兆 c. 3,600万
ウ. a. 3,000万 b. 3兆 c. 5,600万
エ. a. 4,000万 b. 3兆 c. 3,600万

解答：エ